



三条北ロータリークラブ週報

友達になろう

BE A FRIEND

国際ロータリー会長 ビル・ハントレー 第2560地区ガバナー 大島精次

例会日
1994. 9 . 27
累計 No 383
当年 No 12

会長/大野新吉

幹事/米山忠俊

SAA/馬場直次郎

例会日/火曜日 PM12:30~1:30

例会場/三条ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局/三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160
FAX ☎33-8972

いので、高齢者のスポーツとしても最適ではないかと思えます。私も、これから年を取って、激しいスポーツができなくなったら、太極拳を始めようかと思うようになりました。

以上のような体験も大変貴重だったのですが、今回の研修で何よりだったのは、大勢の人たちと知り合えたことだと思います。研修生の中には、様々な年齢や職種の人たちがいて、とても新鮮な気分を味わうことができました。特にルームメイトのみんなとは気が合い、色々な話をしたり、愉快地に過ごすことができました。私は学生時代、寮生活でしたので、その頃の生活や友達は、私にとって、今も何より大切なものとなっています。ですから、寝食を共に生活する楽しさや意義は十分わかっていましたが、今回の様にたった2泊でも、仲良くなれるものだと知り、嬉しく思いました。

最近、私は、友人関係が学生時代からの同職種の友人や職場内の人達と病院関係者の中だけに限りがちで、どうしても世界が狭くなってしまいがちのことに気付き危機感を感じていました。今回、ライラ研修に参加し、少しでも自分の世界を広げられたことが一番の収穫でした。

今回の研修での体験を、職場で、実生活で、いろいろな意味で生かしていきたいと思えます。

会員増強のしおり

- 新会員とは新鮮なアイデアを意味し、新鮮なアイデアはクラブの向上につながります。クラブの活動を夾行するのに必要な人材が増えると、よりよいクラブとなり、クラブや社会に役に立ちます。

四つのテスト

— 言行はこれに照らしてから —

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるかどうか

行事：ライラ研修体験発表 研修生 永井健一郎さん、
猪又綾子さん（三之町病院勤務）

出席：本日の出席 53名中37名
先週の出席率 53名中48名 90.57%（前年同期96.36%）

先週のメイクアップ：9月21日 三条RCへ 本間建雄美さん 羽賀一夫さん 山崎 勲さん
22日 加茂RCへ 高橋彰雄さん
26日 三条南RCへ 山口龍二さん 斎藤 正さん 大野新吉さん

ビジター：燕RCより 相場紀一さん
三条RCより 藤田紘一さん 丸山行彦さん
三条南RCより 小玉良彦さん 竹山昭二さん

ゲスト：ライラ研修生 永井健一郎さん、猪又綾子さん（三之町病院勤務）

会長挨拶：大野新吉

私事の海外研修の為2回欠席させて頂き、会長エレクトの味方さんには大変ご迷惑をおかけ致しました。

10月は職業奉仕月間にちなんで本日は地区職業奉仕委員でいらっしゃる燕ロータリークラブ会員相場紀一様より後程ご指導致します。又、ライラ研修生として9月16日~18日の三日間、国立妙高少年自然の家で研修され無事修了された猪又さん、瀬戸さんお二人の体験発表をして致します。宜しくお願い申し上げます。

幹事報告：米山幹事

- ◇ 地区よりR I「環境と教育自覚活動グループ」に対する資料提供について依頼が来ております。
- ◇ 三条RC例会変更

日時 平成6年10月11日（火）

「ロシアの楽団とロータリアン家族の夕べ」

10月4日例会：国際奉仕卓話 佐藤（啓）国際奉仕委員長

10月11日例会：職場例会 三条市総合福祉センター

会 場 ハミングプラザVIP

第14回ライラ研修修了証書授与式

永井健一郎さん、猪又綾子さんに会長より修了証書の授与

第2560地区職業奉仕委員 相場紀一様（燕RC）

三条北RC例会訪問 三条ロイヤルホテル 平成6年9月27日（火）

本年度地区の職業奉仕委員に任命されました燕クラブの相場でございます。皆様の貴重な例会の時間をお借りして、地区の職業奉仕の事業をピーアールさせていただきます。

地区の委員長は十日町の島田政之助さんと申しますが、本年度の事業計画の中に

①中に各委員が自分の近隣ロータリークラブの職業奉仕委員会と交流をする。例会終了後懇談会をもってほしいとのことです……それも10月の職業奉仕月間の前の9月中に廻ってほしいとのことです。もう一人の委員である吉田RC山岸鉄夫さんと話し合ってお話をしております。

②ボランティアーズ委員会と共同で、地区内全クラブにアンケート調査を実施しました。

7月に発送、8月に回収、9月に集計、10月に発表

③第2560地区以外のロータリーの職業奉仕活動の情報を収集すること

私はこの前のIMの時に、大野会長のお話の中で第4分区の中で一番若いクラブであり…他のクラブにないムードがあるRCの発展は会員増強拡大にある、退会者を出さない、会員同志が本当の友人になること。私はロータリークラブに入ることこそ、これも立派な職業奉仕であると思いません。

昨日は南RC

個人の奉仕（アイサーブ）…今迄の職業奉仕の考え方、自分の職業を高め、職業を通じて奉仕する。1987年RI

団体の奉仕（ウイサーブ）…クラブ全体で職業奉仕に取り組む＝新方針

例会終了後、職業奉仕委員長の山本さんに地区の島田委員長よりの

①職業奉仕月間よせて②職業奉仕委員会活動について③職業奉仕の歴史と発想

最後にドイツの経済学者マックス・ウェーバーの言葉…皆さん大いに働きなさい、大いに儲けなさい、大いにたくわえなさい、そして大いに社会に

ニコニコボックス：

大野新吉君 10月の職業奉仕月間にちなんで地区職業奉仕委員の相場様より奉仕月間にちなんでのお話を頂きます、ご苦労様です、又ライラ研修に参加、無事修了されたお二人方大変ご苦労様でした。

加藤実君 昨日は大変お忙しいところVIPグラウンドホールオープンセレモニーにお出かけ下さいましてありがとうございました。会員の皆様に感謝して

柄沢憲司君 休みが続いてすみません、10月から頑張ります

ライラ研修に参加して 猪又綾子さん



今回、ライラ研修に参加させて頂きありがとうございました。研修の3日間は、講演会、ディスカッション、オリエンテーリング、太極拳と様々な貴重な体験ができました。そして、妙高の自然の中、初めて会う仲間とともに、楽しい時を過ごせたこともまた、大変嬉しく思っています。

石川好先生の講演は、私たちはどう生きるべきかという非常に大き過ぎるテーマで、これから、21世紀に向けて、世界の中でどうすれば日本が生き残っていけるかを例にあげながら話が進んできました。全

体的に自分達の普段の生活からはちょっと離れていて、正直に言って、いつもはあまり真剣には考えない内容でしたので、ディスカッションでは話が進みずらく、沈黙してしまうこともしばしばでした。石川先生は講演の最後の方で、この様にまとめられていました。これからの地球は人口の面でも、環境の面でも、Orver Capacityになる。そういった中では、嫌でもお互いの国同士が影響を与えあい、日本の様な先進国は、自然と周りの国から役割を求められるようになるし、既にそうなってきている。だから、自分の国のことばかり考えていては日本の発展はあり得ない。世界全体の中で日本は何をすべきか、将来のことも、見据えながら、常に考えていかなければならないとのことでした。私が特に印象的だった言葉は、何かを始めようとする時は、まずその考えを世界に投げかけてみる。それが、世界で通用するのか、世界の中でどういう意味を持つのか、常に大きなビジョンで考えてみるのが大切だという言葉です。テーマ自体がとても大きく、獲え方は、研修生それぞれだったと思いますが、私には普段自分の考えを世界的規模、21世紀のビジョンで考えるということは大変難しく、とても無理です。そこで、まずは、自分の考えやこれから行おうとしていることが、友人の中で、職場の中でどういう意味をもつのか、どう影響を与えるのか、5年後、10年後も通用するのかという疑問を投げかけてみて、常に行動していきたいと思えます。

ディスカッションでは、グループ内ではなかなか意見がまとまらず、というよりはその意見すらもあまり出ずに大変でした。1つのことについて意見をぶつけあうなんて機会は、今の私たちにはめったにありません。まして、初めて会う人たちの中で、自分の意見をまとめて話すということは大変難しいことでした。

オリエンテーリングでは、心配していた雨にも会わず、あんな山道を歩いたのは学生時代の登山以来で、思わず夢中になり、ポイントを探しました。久しぶりに子供の頃に帰ったような感覚を味わうことができ楽しかったです。

太極拳も今回初めてだったのですが、意外と、あのゆっくりとした見かけよりはハードなスポーツでした。適度に無理なく、筋力も使うし、バランス感覚も必要、そして何より呼吸法がしっかりしていて、きちんと有酸素運動をしているところが魅力的でした。関節や筋肉にも負担がかからな